

第 78 回（平成 28 年度第 1 回）番組審議会議事録

1. 開催日時 : 平成 28 年 5 月 20 日 (金) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分

2. 会 場 : 西宮市職員会館 第 1 中会議室

3. 委員の出席 : 委員総数 : 7 名
出席委員数 : 6 名

放送事業者側出席者 代表取締役社長 : 1 名
統括部主幹 : 1 名
顧 問 : 1 名
西宮市広報課係長 : 1 名

4. 議題

- (1) 番組審議会規定改定について
- (2) 番組内容についての審議

「ハロー高知家(こうちけ) ゆすはらジオ」(梶原町提供) 毎週火曜 17:15-17:25
西宮市の友好都市「高知県梶原町」に西宮から移住した「ゆすはら応援隊」メン
バーが集落機能の維持活性化に日々奮闘している様子や町内の様子などをお伝え
する 10 分間コーナー。

5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数 7 名中 6 名の出席で、過
半数出席、会は有効に成立している旨の報告。その後、議題に沿って各委員から意見
をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

- (1) 番組審議会規定改定について

社 長: 4 月から芦屋市がエリアになったことを受けて社名を「西宮コミュニティ放送
株式会社」から「さくら FM 株式会社」に変更の予定で 6 月 10 日の株主総
会で決まる。また、総務省からは取締役・番組審議委員に芦屋市の方を入れる
よう指導されている。

このことから審議会規定を改定したい。現規定で「西宮市内に居住する」と

しているのを「放送区域内に～」に変更、現在7名の定数を5名以上と幅を持たせる。また、任期を現審議委員は6月から2年後の5月末となっているのを年度に合わせ2期4年までの重任を「再任を妨げない」としたい。これが承認されると次期は6月1日から平成30年3月31日までとなり、来期だけ少し短くなる。また現在は委員長の負担が大きいため副委員長を設けたい。

委員：これはここで審議して株主総会にかけられるのか？

社長：番組審議会は独立組織なのでそうではないが、社名変更が総会で決まると規定の表記も変わるのでその時は再度皆さんの承認を頂きたい。

委員：再任を妨げないとのことだが、2期まででいいのではないかな？

社長：2期までとかの縛りの無いところが多い。期を重ねてご指導頂ければと。

委員：制限なしのいい部分もあるが、考え方が偏ってくることも考えられる。いろんな人に入ってもら方がいいのではないかな？

社長：その辺は会社も考える。また我々を監督する市の意見も頂くとし、総務省にも毎回報告して点検を受ける等偏らないように運営する。

委員：案の文章が分かりにくい。現規定では西宮市内に「住んでる」か「在勤」か「事業をしている」有識者からとなっているが、案は放送区域内に居住する「学識経験を有する者」となっているが？

社長：以前の方が分かり易いということであればそうする。

委員：以前の方が分かり易いと思う。「学識経験者」と言われると・・・。

委員長：確かに学識経験者と言われると恐縮する。

委員：有識者を学識経験者と表記することもあるのではないかな？

委員：一市民を有識者（学識経験者）とは言わないと思う。

委員：審議員を選ぶ時に誰を選ぶか。市内の学識経験者・有識者という表現の問題ではないかな？しかし、我々は学識経験者ではないが。

委員長：学識経験がないと入れない印象を受ける。

広報課：学識経験となると専門的知識を持った方のイメージがある。教授とか。有識者という表現でよいのではないかな？

委員：もっと若い人を（審議員に）呼べないのかな？有識者と書くと若い人は呼べなくなる。有識者という言葉はいらぬのでは？

委員：そうすると今度は誰を選んでいいのかが分かりにくくなる。

委員：文言は現規定のままでいいと思う。

広報課：書き方は変えているが本質は西宮と芦屋から選ぶということでは？

委員：案は放送区域内に居住するとなっているがそれで大丈夫か？現規定は「在勤」「事業をしている」も含まれているが？

社長：現規定で「西宮市に」となっているのを「放送区域内」として後の文章は現規定の表現でどうか？学識経験者も有識者でいいという感じですね。

委員：居住しているだけでは「住んでなかったら選べない」のでその方がいいと思う。

委員：要は文章だけの問題で意味は変わってないと思っていいか？

委員：社長が幅広く人材を集められるようであれば、我々はそれでいい。

委員長：「放送区域内」として他は現規定の表記で文章を考えてもらうでよいか？

社長：ご指摘の内容で文章を再検討する。混乱させてしまい申し訳ない。議事録をご確認いただく時に再検討した案を提示する。

(2) 番組の審議

委員：お聴き頂いた番組について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：これは毎週放送しているのか？

事務局：毎週だが、前篇と後篇に分かれている。月の前半を前篇、後半に後篇を流す。

今日お聴きいただいたのは5月分の前篇と後篇。

委員：「ゆすはら応援隊」を知らなかった。頂いた資料を見て分かった。

委員：何年もやっている番組かと思った。知っていて当たり前の感覚で進んでいくので。応援隊というのはボランティアなのか？

事務局：梶原町から給料が出ている。

委員：ガソリンスタンドを営んでいると言っていたが？

事務局：若者が少なくなっていく町を応援する目的で募集をしている。梶原町だけでなくいろんな町で実施していると聞いている。

委員：梶原町からこんな番組をしてほしいと依頼があったのか？

事務局：せっかく友好都市なので西宮のラジオでPRしないかと提案した。梶原町としては移住定住を推進していること、ゆすはら応援隊を募集したいことから、西宮の応援隊メンバーに活動状況を紹介してもらって、梶原に興味をもってほしいと考えられた。

委員：興味は湧かなかった。

委員：10分間で何を伝えるか。難しい。言葉でなく映像で伝える方が伝わりやすい。

委員：今、ホームページを見ているが、どこにも応援隊や梶原とつながらない。

Facebook やブログもあると思うがそういうところにつながれるようにはできないのか？他の番組もそうだが聴こえなかった部分のフォローがある程度できるのではないか？興味がある人は番組のホームページを見ると思う。つながってないともったいない。

委員：梶原町は自然の美しいところ。やはり画像がほしい。

委員：行ったことがあるので聴いてて分かった。行ったことない人には分かりにくいかもしれない。

委員：もう少し移住をサポートできるような番組を。

委員：まずこの番組はこういう物で誰が出てるなど、説明が必要なのではないか。

いきなり始まって西宮と梶原の関係も分からなければ、誰がしゃべってるのかも分からない。その辺の説明は 15 秒もあればできるのでは？もっとその辺の関係を丁寧に説明すべきではないか？

委員長：4 月の放送ではあったのかもしれない。

委員：4 月からならまだ始まったばかりなのでもう少し説明はあると思う。

事務局：毎月ゲストが変わるといところで先を急いでしまった感がある。その辺の説明はあると思った。

委員：今月は応援隊の誰々が来ています～などの説明もなかった。

顧問：番組構成がまったくなくてない。みなさんがおっしゃるように。参考になるのは NHK の深夜番組で世界各国に住んでる人と電話でつないで現地の風俗やいろんなものを紹介する 5 分くらいの番組がある。これが聞き手が上手。最初に向こうの天気や気温はどうか？と聞いていく。地理的条件や距離感、そういうものを上手く引き出す。聞き手のほうがコンセプトをきっちり組んで紹介すべきところを聞き手が話す部分と向こうにしゃべらせる部分と上手く切り分けて、「西宮から何キロ離れてる四国の梶原からお声をお聞きます～」「応援隊の誰々が来ています」というような説明を入れていかないと、聞き手に任せっぱなしだから知り合い同士の会話でしかなくなっている。NHK の深夜番組を参考にされたらいいと思う。あれは毎回感心させられるくらいよく出来ている。季節や地形が分かる、民族や食べ物もわかる。平面ではなく多面的につながる番組になっている。

ラジオというのは想像させるもの。聞いてて「四国のあの辺か・・・六甲山と同じようなところか」など、想像のやり取りができるよう聞き手が上手く引っ張り出さないと。そういうのを最初にちゃんと組んでおかないと。行きあたりばったりでやってるのではないかと印象を受けた。もう少し努力しないと。高知県は PR をすごくしている。来月くらいからは夏休みに行ってみたいなあと思わせないと。アクセスの方法とかも。あの辺にはオートキャンプ場もたくさんある。どうやって行ったらいいのかというような紹介も入れたほうがいい。そうするとこっちの人も行ってみようかと思う。年間スケジュールを作って何月にどうするとかを決めて動かないと、行きあたりばったりでやってもあまり効果がない。聴いてても楽しくない。

委員：リスナープレゼントとかはできないのか？道の駅とかあると書いてあるので毎月地元の特産品が応援隊から送られてくるというのは。

事務局：できると思う。

委員：応募してくれた方の住所もわかるし、ファンも増えるしさくら FM もずっと

聞いてくれると思う。

委員：顧問からもあったがラジオはリスナーに想像させるもの。僕らは映像と見たが、そういう意味ではラジオの強みでもあると思う。

社長：スポンサーはせっかくお金を出してくれている。しっかりお応えしないと。耳の痛い意見が多いが番組が始まった早い段階でおっしゃっていただいて、今後の番組作りに活かす。

委員：一年は続くのか。

事務局：一年の契約をしている。

委員：子供が小学生で周りのママ友ともどこへ行こうかと話をしている。上手に紹介してくれたら高知に行くと思う。みんな子供を自然に連れて行きたいと考えている。

社長：高知県は全市町村人口減。梶原だけはひょっとしたら一人か二人人口が増える可能性があった。これは画期的な事。物凄く元気な町長さんで楽しくてきちっとしたものをお持ちの方。しっかりと応えたい。私も梶原には行ったことがあるが素晴らしいところ。これを機会にぜひ行っていただければと思う。

顧問：最近の NHK の特番で梶原を見た。ずいぶん宣伝がうまい。高知県全体がそう。こちらとしては西宮から移住されてしまうと困るけど、観光として行く分には・・・。民宿もあるがオートキャンプ場なんかも発達しているのでそういう案内を上手くしていただければと思う。昔は四国（特に高知）へ行くのは二日かかりだったが今は3～4時間。

委員：参考までに費用はどれくらいで行けるか？

社長：オートキャンプ場は使ったことがないが、それでも民宿などは安い。2泊して数万円もあれば。四国はどこも綺麗、仁淀川や四万十川、自然豊かで。

顧問：車で行くには運転に慣れてないと。梶原までは結構山でカーブも多い。

委員長：車以外で行く方法はあるのか？

社長：昔初めて四国に行ったときは飛行機で行った。橋がなかったので車で行くのは厳しかったが、飛行機はすぐ。

事務局：梶原ならバスがある。JRで一番近い駅まで行くとそこからバスで1時間程度。

広報課：宿によっては主要な場所まで迎えに来てくれることもある。

社長：今年の11月に梶原町の町制施行50周年の式典があって、それに合わせて行こうと思っている。一緒に行かれるならレンタカー借りるが。

委員：町づくりに成功しているところは熱意を持った方がおられる。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。ま

た、今期の審議委員会の任期が今日で終わるということで次期のメンバーを調整中の旨、委員が退任される旨、また留任される方への依頼などを伝えた。事務局は次回の審議会は平成 28 年 7 月 26 日午前 10 時 00 分にと決定した。議長は、午前 11 時 40 分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくら FM」のホームページ（URL <http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成 28 年 5 月 20 日
西宮コミュニティ放送株式会社